



2018年 **12**月

株主通信 セコム株式会社

第58期中間報告書 [2018年4月1日から
2018年9月30日まで]

「企業理念の透徹」により、組織の変化適応力を高め 「セコムグループ ロードマップ 2022」の実現、 さらには企業の持続的成長を目指す

「セコムグループ ロードマップ 2022」の実現に向けた「企業理念の透徹」、新サービスの展開について、社長の中山泰男からご説明させていただきます。



中山 泰男

セコム株式会社 代表取締役社長

「企業理念の透徹」に向けた取り組みについて

今年5月、「セコムグループ2030年ビジョン」で目指す姿に到達するため、今何をなすべきか、何を必要としているかをバックキャストの思考で明らかにした「セコムグループ ロードマップ2022」を発表し、その実現に向け邁進しています。

現在は環境変化が激しく先行きの読みにくい時代です。そうした環境下で企業が持続的に成長していくためには高い変化適応力が必要です。そして、高い変化適応力を保つには、社員一人ひとりが目的を共有し、主体的に行動することが重

要で、そのためには企業理念を組織全体に浸透させ、社員一人ひとりが自分自身の価値観として体現する必要があります。

そこで、ぶれない軸となる「企業理念の透徹」のために7月から開始したのが「Tri-ion (トリオン) 活動」です。これは、「Passion (情熱) を呼び起こす」「Emotion (感動) を共有する」「Motivation (モチベーション) を高める」という施策からなる活動で、3つの「-ion」で“トリオン”と名付けました。

この活動を通して、社員一人ひとりが理念を体現していくことで、社会貢献、自己成長、つながりの喜びを感じ、働きがいが高まっていく。それがロードマップの実現、さらには企業の持続的成長につながっていくと考えています。

「セコムグループ ロードマップ2022」で掲げる 2つの優先課題への取り組みについて

ロードマップの実現に向けて、「テクノロジーの進化」と「労働力人口の減少」という2つの優先課題への取り組みも積極的に展開しています。

例えば、テクノロジーの進化により高まる「つながる社会のセキュリティ」需要への対応としては、「セコム・ホームセキュリティ」とソニーモバイルコミュニケーションズ(株)のコミュニケーションロボット「Xperia Hello!」との連携や、IoT技術を活用し扉の施錠錠をスマートフォンのアプリで操作する「セキュリティロック・スマート」の発売などにより、ホームセキュリティの価値拡大に取り組んできました。

さらに、国際基準認定の電子認証局の運営で培った安全な電子鍵運用のノウハウを活かし、地方自治体向け総合行政ネットワークで利用する電子証明書の発行や、仮想通貨取引における世界最高水準の安全な電子鍵管理サービスの提供を開始するなど、サイバーセキュリティ分野へも積極的に進出しています。

今後は、本人認証に関するプラットフォームビジネスを推進することで、金融インフラの業務効率化やコスト削減、サービス利便性の向上などにも取り組んでいきます。

また、労働力人口の減少により高まる「誰かに頼みたい」需要に対しては、電力会社や通信会社などが販売する家庭向けIoTサービスに、セコムの緊急対応員による駆け付けサービスをオプションで付加する提携を進めています。

サプライチェーンの安全性向上に向けた 新たなサービスの創出について

6月にサプライチェーンに関わるセキュリティ認証等の取

得支援サービス「セコム・サプライチェーンセキュリティ・セレクト」を発売し、サプライチェーンの安全性向上への取り組みを加速させています。

同サービスでは、第1弾としてセコムも策定に協力したSGSジャパン(株)の「SGS施設セキュリティ評価基準」に基づく登録証の取得支援を行います。

本基準が策定されるまでは施設のフィジカルセキュリティに特化した認証がなく、また取引先からのセキュリティ対策への要求に対応するために、どのような対策を行えばよいのかわからないといった課題がありました。

しかし、本基準の策定により、お客様は登録証を取得することで施設の安全性を取引先に対し客観的に立証することができるようになり、ビジネスチャンスの拡大にもつながります。すでに登録証の取得を検討されるお客様からサービスへの引き合いを多くいただいております。

今後もさまざまな認証に対応していくことで、世界のサプライチェーンで通用する「安全・安心」の提供に取り組んでいきます。

最後に、株主の皆様へ

頻発する大規模な自然災害やサイバー攻撃の脅威、さらに来年からは大規模なスポーツイベントが続くこともあり、いろいろな側面から「安全・安心」に対するニーズは高まっています。

「あらゆる不安のない社会の実現」を社会的使命として掲げるセコムグループでは、そうした「安全・安心」へのニーズに応え、社会から期待される役割を果たしていくことで、さらに成長を加速させていきます。

今後もセコムにご注目いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

サプライチェーンに関わるセキュリティ認証等の取得を支援 「セコム・サプライチェーンセキュリティ・セレクト」を発売

セコムは6月、サプライチェーンに関わるさまざまなフィジカルセキュリティ認証等の取得支援サービス「セコム・サプライチェーンセキュリティ・セレクト」を発売しました。

サプライチェーンの安全性の向上は、グローバル化が進む今日において、ますますその重要性を増しており、なかでも物流施設では、荷物の抜き取りなどの不正防止のためのセキュリティ対策が最重要課題となっています。

セコムは、こうした社会背景を踏まえ、世界最大級の認証機関であるSGSグループの日本法人SGSジャパン(株)と共同研究を行い、同社のサプライチェーンに関わる新しいセキュリティ基準「SGS施設セキュリティ評価基準」の策定(2018年2月)に協力しました。

この取り組みを受け発売した本サービスは、まず第1弾として「SGS施設セキュリティ評価登録証」の取得支援を提供します。本サービスを通じて、お客様はセキュリティ対策に関する各種ご相談から、セキュリティポリシーの作成、最適なセキュリティシステムの導入、審査準備まで一貫したサポートを受けることができます。

今後は、お客様のニーズに合わせ、サプライチェーンに関わるさまざまな認証等の取得支援にも順次対応してまいります。



SGS施設セキュリティ評価登録証ステッカー(左)

地震・津波・土砂崩れ・洪水などの災害から身を守る 「あんしん防災シェルター」を発売

セコムは9月、突然の大災害から身を守るための備えとして「あんしん防災シェルター」を発売しました。



地震・津波・土砂崩れ・洪水などの災害から身を守る「あんしん防災シェルター」

近年、地震や豪雨などの災害が国内で頻発し、今後も大規模災害の発生が予測されるなど、災害対策は重要な社会課題となっています。

本商品は、地震・津波・土砂崩れ・洪水などの災害発生時に、緊急的に中に入ること、身の安全を保つ可能性を高める防災シェルターです。

定員は2名で、本体は救難色として国際的に採用されているオレンジ色としています。繊維強化プラスチック(FRP)製で、建屋が倒壊した場合にも落下物につぶされないよう30トンの荷重に耐えられる構造です。

また、密閉構造で防水性を備え、津波や洪水で流されてもハッチ(扉)を上にして水に浮かぶ独自の構造をとっています。さらに、内部から携帯電話やGPS端末が使用でき、オプションで提供する位置情報提供システム「ココセコム」を利用すれば、シェルターごと流された場合にも位置の特定が可能になり、救助の要請ができます。

今後もセコムでは、被災地支援で積み重ねた経験・ノウハウをもとに、災害への備えとなるサービス・商品を生み出し、社会に「安全・安心」を提供してまいります。

AEDの状態をオンラインで管理 「セコムAEDオンラインパッケージサービス」を発売

セコムは10月、AED（自動体外式除細動器）のレンタルサービスとオンラインサービスをパッケージにして提供する「セコムAEDオンラインパッケージサービス」を発売しました。

現在、AEDは駅や空港、商業施設、スタジアム、企業、学校などさまざまな場所で設置が進み、救命事例も多数報告されています。一方で、医療機器であるAEDはいざという時にきちんと使えるよう日頃から点検を行う必要があります。



本サービスの普及を通じてAEDを安心して使用できる環境づくりを目指す

しかし、AEDの管理が十分にできていないことでバッテリー切れや消耗品の使用期限切れなどが見過ごされているケースもあり、緊急時にAEDの不具合により使用できなかったという事例も報告されています。

本サービスでは、これまでのAEDのレンタルサービスに加え、オンラインでのAEDの状態管理（AED本体の故障、電極パッドの使用期限、バッテリー残量）、心電図の提供、AEDの稼働状況のレポート提出を行います。

専用通信端末を使うことで設置工事を不要とし、導入費用も抑えられることから、オンライン化のさらなる促進が期待できます。

今後もセコムでは、“AEDがいつでも、だれでも使える社会”の実現を目指し、AEDのさらなる普及につながるサービスの拡充に取り組んでいきます。

セコムトセック(株)がセコムグループ入り 大型施設での付加価値の高いサービスの開発・提供を強化

セコムは8月、(株)東芝傘下の東芝セキュリティ(株)の発行済普通株式の80.1%を取得。同時に社名をセコムトセック(株)に変更し、同社はセコムのグループ会社となりました。

セコムトセックは、東芝グループ各社の工場やオフィスを中心に施設警備、動力設備および消防・防災設備の保守・点検のほか、受付業務などの総務付帯業務を手掛ける警備会社です。

お客様の活動の土台を守るため、24時間365日事業所における生命・財産の保全に努めるとともに、事故の未然防止を図っています。

セコムトセックがグループ入りすることで、同社が有する、工場などの大型施設における幅広い経験および蓄積されたノウハウ等を活用できるようになります。これにより、警備のみならずお客様のセキュアな活動の土台を支える付加価値の高いサービスを開発・提供することが可能になると考えています。

今後は、セコムおよびセコムトセックの強みを活かしてさまざまな相乗効果を生み出すことで、双方のお客様に対してさらなる高品質なサービスを提供し、あらゆる不安のない社会の実現に取り組んでいきます。



セコムトセック(株)の常駐隊員

日々の暮らしを見守る、新しい安心のスタイルを実現 「セコム・ホームセキュリティ」と「Xperia Hello!」が連携

セコムは10月、ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)のコミュニケーションロボット「Xperia Hello!」(エクスペリア ハロー)と「セコム・ホームセキュリティ」を連携させ、新しいスタイルのセキュリティサービスの提供を開始しました。



「Xperia Hello!」との連携で新しい安心のスタイルを実現

今回の連携により、新たに3つの機能が加わります。

- ① 音声によるセキュリティの警戒や解除などの操作
- ② お客様からの声掛けで、現在のセキュリティ状態をディスプレイに表示
- ③ 「Xperia Hello!」が、帰宅時や就寝前にセキュリティの警戒操作をおすすめ

「セコム・ホームセキュリティ」がこれまで培ってきた緊急時の見守りと、「Xperia Hello!」の特徴である愛らしい表情やしぐさとともに会話を楽しめるエンタテインメント性、家族をつなぐコミュニケーション機能、顔認識や遠隔画像撮影などによる“ゆるやかな見守り”機能を連携することで、「安全・安心」に「楽しさ」「便利さ」が加わります。これにより、お客様の毎日の暮らしを平常時も緊急時も切れ目なく見守ることのできる新しい安心のスタイルが実現します。

セコムは今後も、お客様の豊かな暮らしをサポートできるよう、新たなサービスの開発に努めていきます。

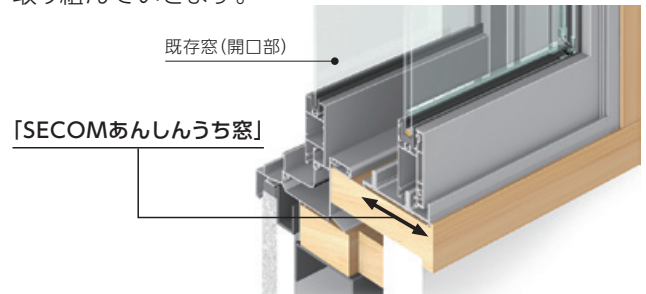
お住まいの“安心”に“快適性”をプラスする 「SECOM あんしんうち窓」を発売

セコムは9月、AGC(株)とともに既存の窓の内側に設置することで優れた断熱・防音性能などを発揮し、さらにお住まいの防犯と快適性を高める高性能ガラスを搭載した「SECOM あんしんうち窓」を発売しました。

本商品は、既存の窓だけでは実現できなかった防犯と快適性を両立するオリジナルの内窓です。既存の窓はそのままに、室内側へ一窓あたり約1時間程度の比較的簡単な設置工事で取り付けることができます。

サッシ部分はアルミと樹脂のハイブリッド構造で、優れた耐久性と堅牢性、ならびに気密性を実現しています。また、今回新たに開発した防犯合わせガラス「SECOM あんしんガラス エコ複層(ペア) ガラス」を標準仕様としたことで、遮熱・断熱・防音・結露対策・紫外線対策などで高い効果を発揮し、お住まいに“安心”と“快適性”をお届けします。

今後もセコムとAGCは、お客様の「安全・安心」のさらなる向上を目指すとともに、住宅・オフィス環境を「快適・便利」にする新しいサービス・商品の開発・提供に取り組んでいきます。



“安心”に“快適性”をプラスする「SECOM あんしんうち窓」

AIと社会心理学を活用した勤務シフト自動作成サービス「セコムかんたんシフトスケジュール」を開発

セコムグループでBPO・ICT事業を担うセコムトラストシステムズ(株)は9月、飲食チェーンの運営ノウハウを持つ(株)吉野家、およびAIベンチャーの(株)エクサウィザーズとともに、勤務シフト自動作成サービス「セコムかんたんシフトスケジュール」を開発し、発売しました。

多くのアルバイトやパートなどのスタッフを抱える飲食・小売業の店舗管理者にとって勤務シフトの作成は、標準化・効率化が難しく、大きな負担となっています。近年は労働人口の減少による人員確保の難しさや、働き方の多様化も重なり、一層負担が増しています。

本サービスは、スタッフの希望に基づきセコム開発のAIが勤務シフトを自動作成し、さらに国内初となるAIと社会心理学を活用したエクサウィザーズ開発の「AIリコメンド機能」が、欠員箇所に特長分析結果や過去の応援実績を踏まえ、最適な候補者をリコメンド(推奨)します。

これらの機能により、管理者の勤務シフトの作成・調整に要する手間やヒューマンエラーの削減、身体的・心理的負担の軽減を図ることができ、管理者は店舗運営やサービス品質の向上に一層注力できるようになります。

本サービスを通じて、多種多様な飲食・小売業店舗の効率的な業務運営を支援するとともに、働き方改革および社会の生産性向上にも貢献していきます。



勤務シフト自動作成サービス
「セコムかんたんシフトスケジュール」

「サステナビリティレポート2018」を公開 事業を通じた社会のサステナビリティへの貢献を紹介

セコムは10月、社会のサステナビリティ(持続可能性)の実現に向けた取り組みを紹介する「サステナビリティレポート2018」をセコムのウェブサイト上に公開しました。

セコムでは現在、「セコムグループ2030年ビジョン」で掲げる「あんしんプラットフォーム」構想の実現により、企業の成長とともに社会のサステナビリティにも貢献することを目指し、さまざまなCSR活動に取り組んでいます。

本レポートでは、「トップメッセージ」に加え、「トピックス」「戦略的CSR」「基盤的CSR」の3つのパートでセコムの取り組みを紹介。「トピックス」では5月に策定した「セコムグループロードマップ2022」や災害支援活動、スポーツ支援活動、「戦略的CSR」では「セコムグループ2030年ビジョン」に基づく取り組み、「基盤的CSR」では企業として社会から信頼を得るための取り組みを紹介しています。



社会のサステナビリティの実現に向けたセコムの取り組みや考え方をまとめた「サステナビリティレポート2018」

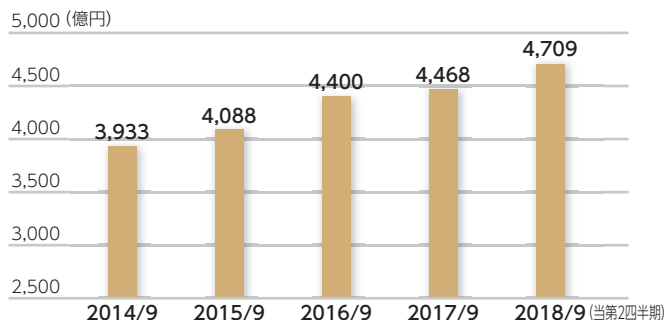
また、本レポートの公開とあわせて、ウェブサイトのサステナビリティのページもリニューアルし、より詳細な情報掲載やデータ開示を行い、内容の充実を図っています。

事業を通じて社会のサステナビリティに貢献するセコムの取り組みをぜひご覧ください。

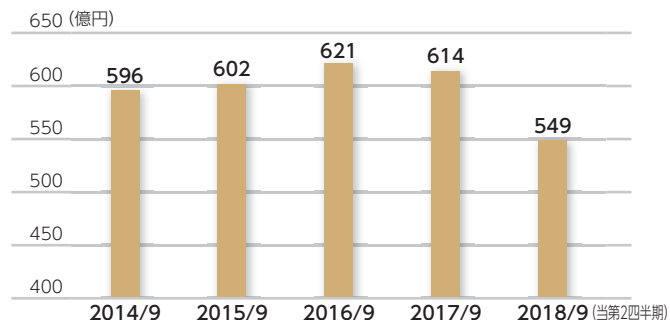
Review

連結決算 業績ハイライト — 第2四半期累計

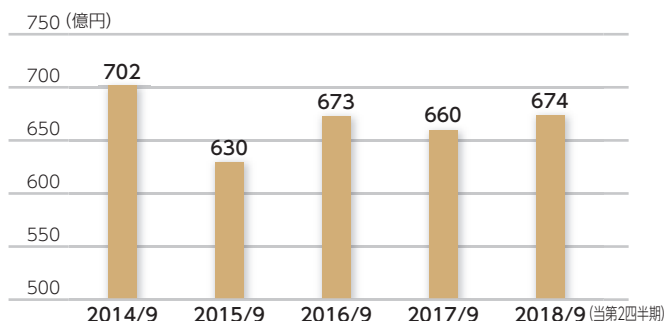
● 売上高



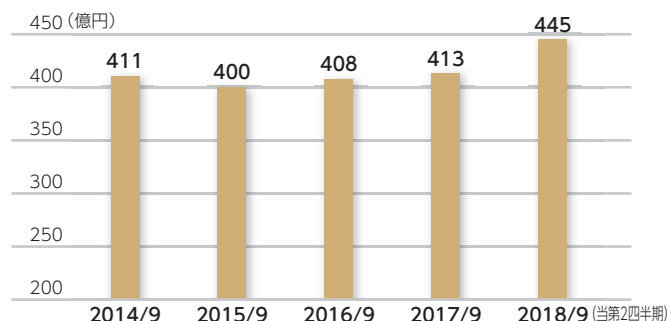
● 営業利益



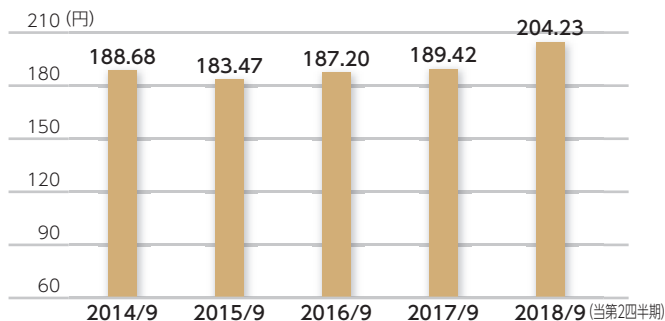
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する四半期純利益



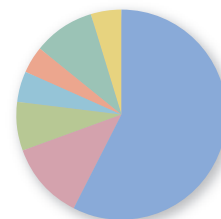
● 1株当たり四半期純利益



● 事業別売上高内訳 2018/9 (当第2四半期)

(億円)

● セキュリティサービス事業	2,713	57.6%
● 防災事業	560	11.9%
● メディカルサービス事業	354	7.5%
● 保険事業	226	4.8%
● 地理空間情報サービス事業	202	4.3%
● BPO・ICT事業	442	9.4%
● 不動産・その他の事業	210	4.5%



連結貸借対照表(要旨) — 第2四半期末

2018年9月30日現在

(単位: 億円) *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部	流動資産	7,842
	現金及び預金	3,437
	現金護送業務用現金及び預金	1,367
	受取手形及び売掛金	881
	未収契約料	375
	有価証券	183
	リース債権及びリース投資資産	425
	たな卸資産	448
	販売用不動産	441
	短期貸付金	47
	その他	234
	固定資産	9,335
	有形固定資産	3,775
	建物及び構築物	1,478
	警報機器及び設備	716
	土地	1,178
	その他	402
	無形固定資産	1,300
	投資その他の資産	4,258
	投資有価証券	2,880
	長期貸付金	345
退職給付に係る資産	416	
繰延税金資産	218	
その他	398	
資産合計	17,177	

負債の部	流動負債	3,325
	支払手形及び買掛金	375
	短期借入金	300
	1年内償還予定の社債	20
	未払金	355
	未払法人税等	206
	現金護送業務用預り金	1,173
	前受契約料	312
	その他	580
	固定負債	2,788
	社債	52
	長期借入金	124
	長期預り保証金	328
	退職給付に係る負債	226
保険契約準備金	1,783	
その他	273	
負債合計	6,114	
純資産の部	株主資本	9,518
	資本金	663
	資本剰余金	803
	利益剰余金	8,788
	自己株式	△737
	その他の包括利益累計額	218
	非支配株主持分	1,326
	純資産合計	11,063
	負債純資産合計	17,177

連結損益計算書(要旨) — 第2四半期累計

(単位: 億円) *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当第2四半期累計 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前第2四半期累計 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	増減率
売上高	4,709	4,468	5.4%
売上原価	3,235	2,973	
売上総利益	1,474	1,495	△1.4%
販売費及び一般管理費	925	880	
営業利益	549	614	△10.7%
営業外収益	145	62	
営業外費用	19	16	
経常利益	674	660	2.2%
特別利益	3	5	
特別損失	5	3	
税金等調整前四半期純利益	672	661	1.7%
法人税、住民税及び事業税	200	282	
法人税等調整額	△30	△73	
四半期純利益	502	452	11.0%
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	39	
親会社株主に帰属する四半期純利益	445	413	7.8%

● 営業の概況(連結)

当第2四半期連結累計期間における売上高は4,709億円(前年同期比5.4%増)、営業利益は549億円(前年同期比10.7%減)、経常利益は674億円(前年同期比2.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は445億円(前年同期比7.8%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高、親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高を達成することができました。

〈参考〉

- 連結子会社数 179社
- 持分法適用関連会社数 16社
- 1株当たり四半期純利益 204円23銭

Profile

● 会社概要

セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-5-1

Tel: 03-5775-8100

Fax: 03-5775-8902

● 資本金 66,392 百万円

● 社員数 (グループ総数)

60,460 名 (2018年3月31日現在)

● 事業内容

1962年、日本初の警備保障会社として創立。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

また、常駐警備サービスや現金護送サービスの提供、各種安全商品の販売のほか、国際会議や大規模イベントで最新セキュリティシステムを活用した警備を行うなど、社会に「安全・安心」を提供しています。

今日、セコムグループは、社会にとって「安全・安心・快適・便利」なサービスを新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築を目指し、セキュリティに加え、防災、メディカル、保険、地理空間情報サービス、BPO・ICT、不動産の7つの事業を展開しています。

取締役 (2018年11月30日現在)

取締役 (最高顧問)	飯田 亮
代表取締役社長	中山泰男
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	尾関一郎
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司
取締役 (社外)	廣瀬篁治*
取締役 (社外)	河野博文*
取締役 (社外)	渡邊 元*

監査役 (2018年11月30日現在)

監査役 (常勤)	伊東孝之
監査役 (常勤)	加藤幸司
監査役 (社外)	加藤秀樹*
監査役 (社外)	安田 信*
監査役 (社外)	横溝雅夫*

*印の6名を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

執行体制 (2018年11月30日現在)

● 取締役

代表取締役社長	中山泰男
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	尾関一郎
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司

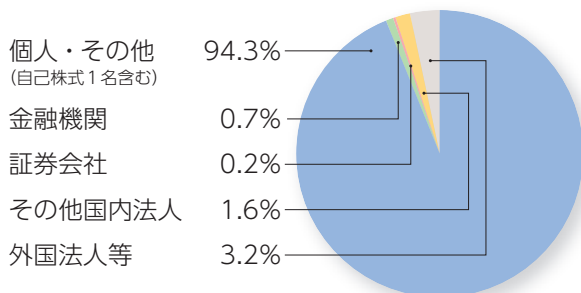
● 執行役員

常務執行役員	古川 顕一
常務執行役員	竹田正弘
常務執行役員	水野都飽
常務執行役員	石村昇吉
常務執行役員	新井啓太郎
執行役員	杉本陽一
執行役員	福満純幸
執行役員	進藤健輔
執行役員	桑原靖文
執行役員	福岡規行
執行役員	赤木 猛
執行役員	佐藤貞宏
執行役員	上田 理
執行役員	山中善紀
執行役員	長尾誠也
執行役員	植松則行
執行役員	永井 修
執行役員	小松 淳
執行役員	御供和弘
執行役員	千田岳彦
執行役員	中田貴士
執行役員	森田通義
執行役員	稲葉 誠

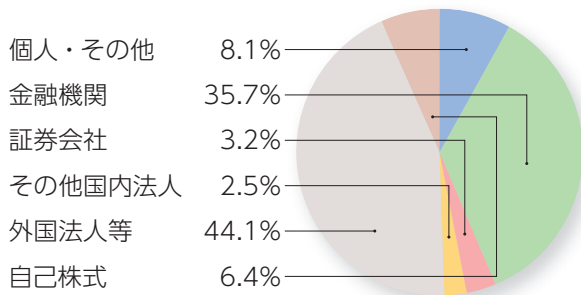
● 株式の状況 (2018年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,292,219株
3. 単元株式数 100株
4. 株主数 23,942名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



表紙写真のご説明

「セコム・ホームセキュリティ NEO」は、従来のホームセキュリティの機能に加え、健康管理・救急対応サービス「セコム・マイドクターウォッチ」や「セコムあんしん宅配ボックス」、ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)の「Xperia Hello!」など、IoT機器と連携したサービスを付加できます。

● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主優待制度 毎年3月31日現在における当社株式100株以上保有の株主様に、当社グループで利用可能な優待券を贈呈。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告
<https://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

● 株式に関する各種お手続きについて

- 証券会社に口座がある株主様は… ▶ 口座がある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株式の株主様は… ▶ 下記の特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。
- 未払い配当金のお支払いに関するお問い合わせは… ▶ 下記の株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵送先
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きに関するお問い合わせ
☎ 0120-232-711
[平日9:00~17:00]



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

セコム コーポレート広報部 757-18-12-262